



—北から 南から—  
(1面から続き)

## 武藏野市 東京都

### 「平和の日」条例を制定

日本有数の軍需工場があり、米軍の本格的な本土空襲の第一目標とされた武藏野市。昭和19年に初空襲を受けた11月24日を「平和の日」とするこ



となどを定めた条例が昨年9月議会で可決されました。戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを次世代につないでいくため、この日を中心、「ピースむさしの未来をひらくつどい」を市民とともに開催し、平和に関する標語の発表や空襲を語る講演、パネル展示、記念植樹<sup>II写真③</sup>など多彩な事業を展開しました。

## 倉敷市 岡山県

### 多彩な事業で平和訴え

倉敷市は人口約48万人で、広島、岡山の両政令市に次ぎ中国地方第3の都市。広島に近いこともあって平和への取り組みは盛んで、小中学生ら



平和実現のための運動を熱心

に行う国内外の個人・団体に100万円を贈呈しています<sup>II写真</sup>。初受賞は「第五福竜丸平和協会」(東京都)、第2回は「幡多高校生ゼミナール」(高知県)でした。また中学生の使節団を広島に派遣しており、昨年夏には市長、議長を創設し、核兵器廃絶と恒久



## 俱知安町 北海道

### 人権守る事業着実に

平和の実現に、戦争の廢絶はもちろん、人々の自由や人権の確立は不可欠。差別やいじめを恥じ嫌悪する文化を身近なところで培うことが大切です。俱知安町では、人権擁護

り部の会」など多彩な事業で平和を訴えています。

約250人が平和記念公園・資料館を訪れる「広島平和のバス」事業<sup>II写真④</sup>などを展開。長崎にも原爆忌に合わせて「長崎平和大使」を派遣しています。また空襲にあつた水島の写真や戦時中の物品を展示する「戦災のきらく展」を開催するほか「平和アニメ上映会」「原爆被爆体験者の語

り部の会」など多彩な事業で平和を訴えています。

の上映や市民団体による平和コンサートを行う市民平和の集い「伝えられる誰にでも」をはじめ、平和写真展、「平和の絵」、平和祈念集会、平和図書展「語り継がれる戦争の記録」など多彩な内容。また小・中学生を平和学習のため長崎市に派遣しており<sup>II写真⑤</sup>、昨夏の40人は初めて平和祈念式典にも参加しました。

## 焼津市 静岡県

### 「平和賞」創設し贈呈

焼津市は、昭和29年に米国との水爆実験で被曝した第五福竜丸の悲劇を語り継ぐため「六・三〇市民集会」を毎年開催。平成21年には「焼津平和賞」を創設し、核兵器廃絶と恒久



## 宇治市 京都府

### 市民の集いで戦争伝え

宇治市では、市など16団体で平和都市推進協議会を構成し、8月6日～15日の期間に一連の平和事業を展開しました。市民公募の平和関連映画

護委員協議会や男女平等参画推進審議会などと連携して、そんなまちづくりに着実に取り組んでいます。定期的に相談事業を行うほか、本年度は男女が力を合わせて認知症を理解し対処していくため、臨床心理学の大学教授による講演会を開催<sup>II写真</sup>。約250人が熱心に耳を傾けました。

